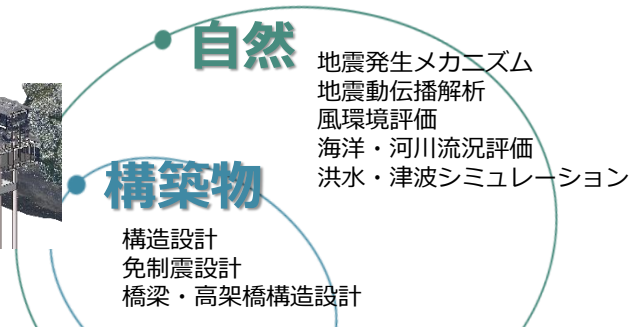
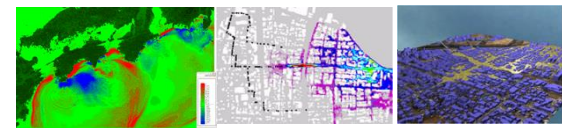


大学、研究機関と実業界をブリッジするデザイン&エンジニアリング企業

■会社概要

社名 株式会社構造計画研究所
 設立 1959年5月6日
 代表者 代表執行役会長 服部正太
 代表執行役社長 渡邊太門
 資本金 10億1020万円
 従業員 611名 (2021年9月現在)
 上場市場 東京証券取引所
 JASDAQスタンダード
 事業内容 ・エンジニアリング
 コンサルティングサービス
 ・プロダクツサービス



事業所 本所 (東京都中野区)
 本所新館
 中野坂上別館
 名古屋支社
 大阪支社
 福岡支社
 熊本構造計画研究所
 上海駐在員事務所
 KKE SINGAPORE PTE.LTD.

社会・企業・コミュニティ

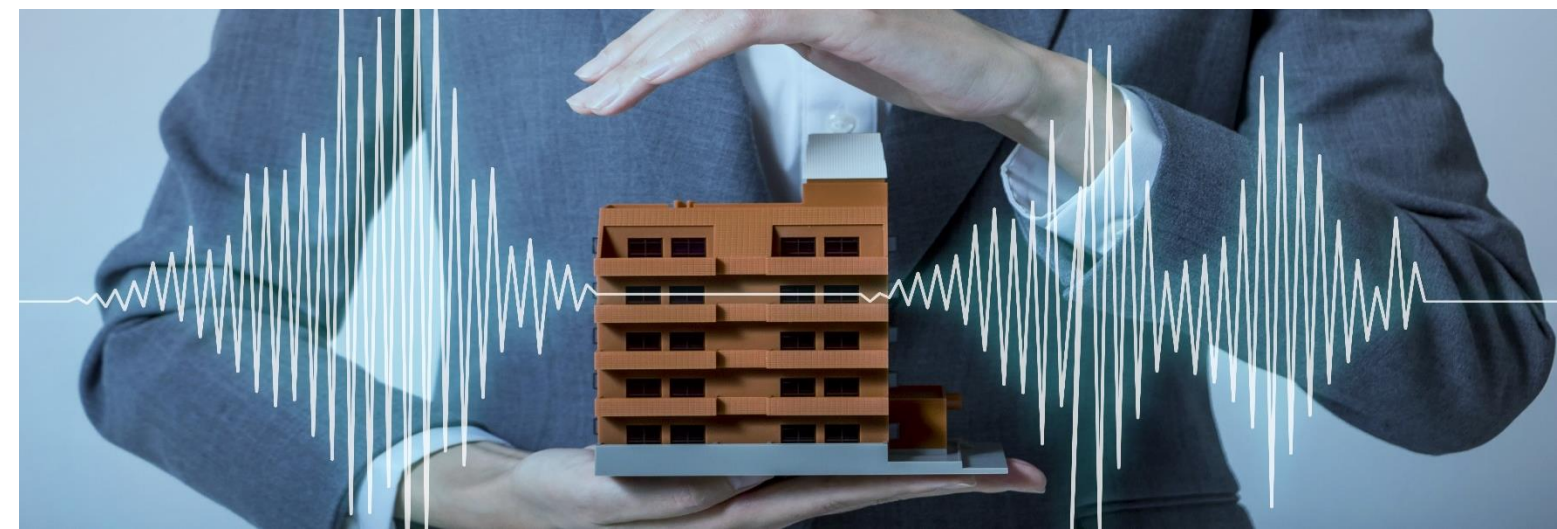
情報通信
 意思決定支援
 災害避難シミュレーション
 人流計測行動分析
 事業継続マネジメント支援
 最適化計画



Innovating for a Wise Future

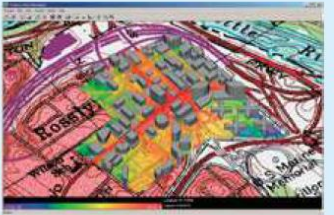
地震動評価 コンサルティングサービス

地震動評価のみならず、津波・台風による外力評価、建造物の性能評価、避難シミュレーションなど、防災に関する各種技術革新や諸問題に対し、多角的なアプローチをご提案します。



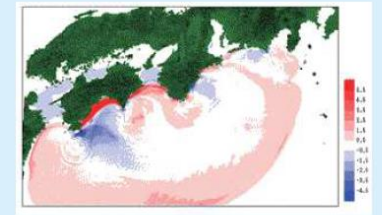
周辺環境評価

風況解析、温熱環境、電波・電磁界解析などの構築物を取りまく様々な物理環境を評価します。



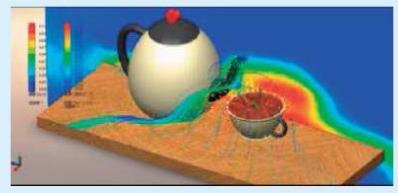
特殊環境評価

津波・爆風・火災延焼など、見えない災害リスクを可視化・数値化することで「まず、何をすべきか」「どう備えるべきか」を明確にします。



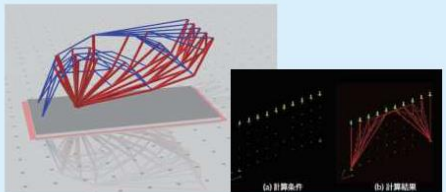
その他力学的解析

流体・粉体・粒子法、相互作用など、様々な力学的解析アプローチで、設計支援パッケージの販売ならびに受託解析を行います。



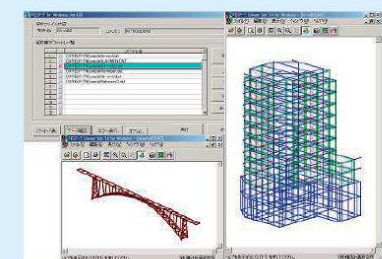
先端研究

特殊形状の構築物に対して3Dデータの構造解析に基づく技術的課題やコンピューショナルデザインによる形態創生のアプローチで提案します。



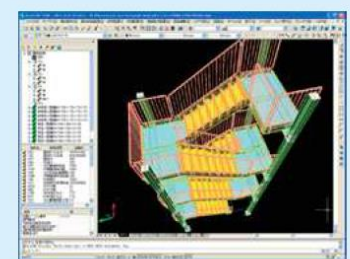
プログラム開発

学術界での先端研究を実務に活用するためのプログラムを数多く開発しています。



システム開発

お客様ごとのニーズに応じ、CAD、BIM、構造計算を含む運用システムの開発を行います。



構造計画研究所
 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

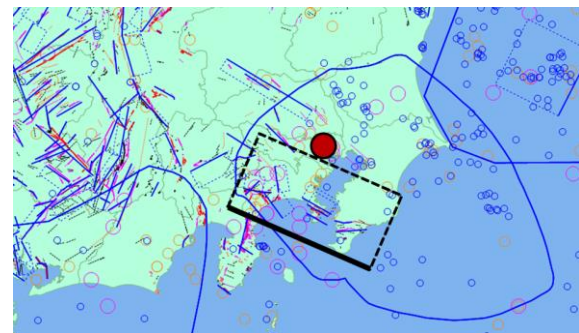
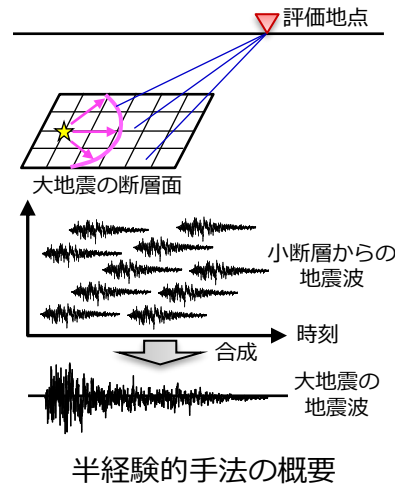
株式会社構造計画研究所 エンジニアリング営業部
 〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル10F
 東京 (03) 5342-1136 大阪 (06) 6226-1231
 Email kaiseki@kke.co.jp URL https://kaiseki-kke.jp/

※ このパンフレットの記載内容は2022年5月現在のものです。※ 本製品・サービスの内容の条件は、改善のために予告無く変更することがあります。※ 構造計画研究所、構造計画研究所ロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。

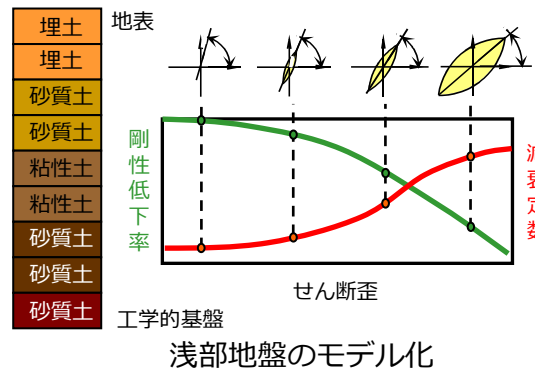
設計用入力地震動作成

構造計画研究所では、設計用入力地震動の検討に関して20年以上にわたり多くの経験を蓄積してきました。豊富なノウハウをもとにお客様の目的に合わせた地震動を提供します。地震環境の調査から地震動の作成、性能評価の質疑対応までをトータルサポートします。

地震環境調査	評価地点周辺の被害地震、断層モデルの情報収集・整理
地震動評価手法	経験的手法：距離減衰式、翠川・小林手法
	半経験的手法：統計的グリーン関数法、経験的グリーン関数法
	理論的手法：波数積分法、三次元差分法
	ハイブリッド合成法：半経験的手法+理論的手法
浅部地盤の応答解析	長周期地震動評価：国交省の基整促に基づく方法
	等価線形解析：SHAKE、DYNEQ、FDEL
	時刻歴非線形解析：修正ROモデル、HDモデル、石原・吉田の方法
	液状化を考慮した解析：有効応力解析、簡易手法（低減率βを考慮）



地震環境調査



建築(免震/制振)・超高層工作物

大臣認定の取得が必要である免震建物や60m以上の建築物および煙突・風車等の工作物の設計に用いる地震波（サイト波、告示波、長周期地震動）を作成します。

評定委員会への説明・質疑対応はもちろんのこと、地震波ご提供後の設計変更等による修正にも柔軟に対応します。



土木・港湾・プラント

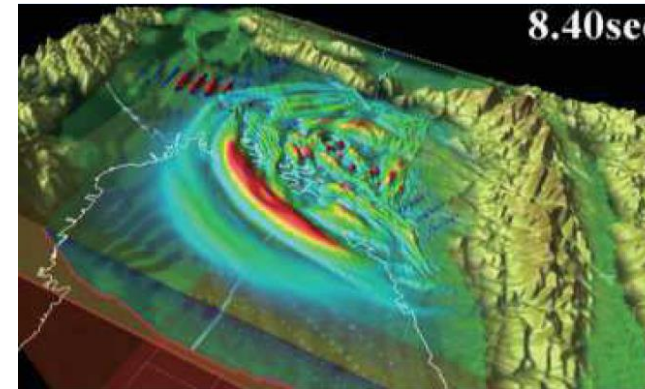
ダムや橋梁等の土木構造物、港湾・プラント施設の耐震照査に用いる入力地震動を作成します。各分野の基準・指針に準拠した地震動の作成のほか、検討の目的に合わせた地震動評価を行います。

基準・指針例：大規模地震に対するダム耐震性能照査指針(案)・同解説、道路橋示方書、港湾の施設の技術上の基準・同解説、高圧ガス設備等の設計に関する基準、等

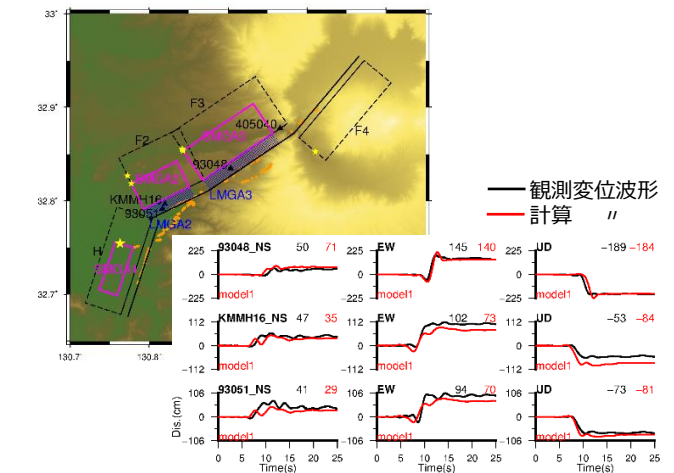
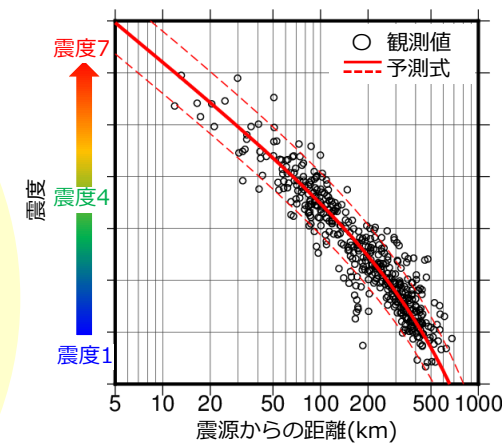
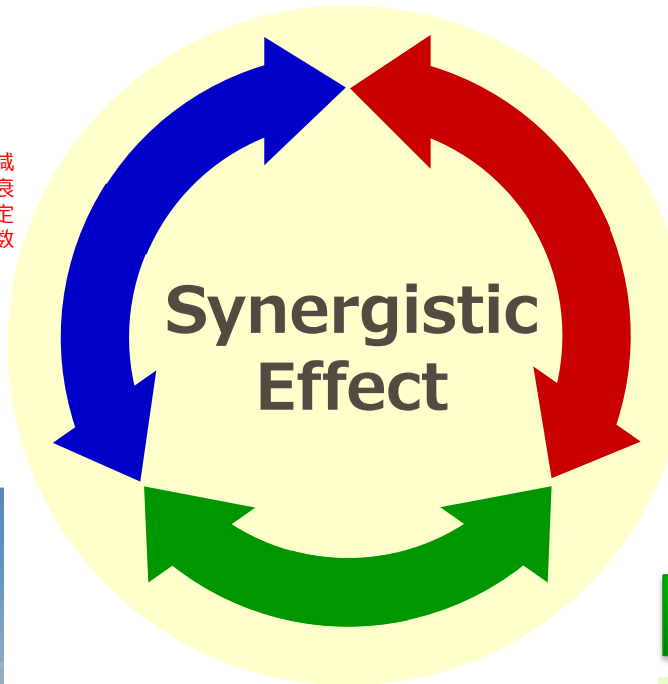
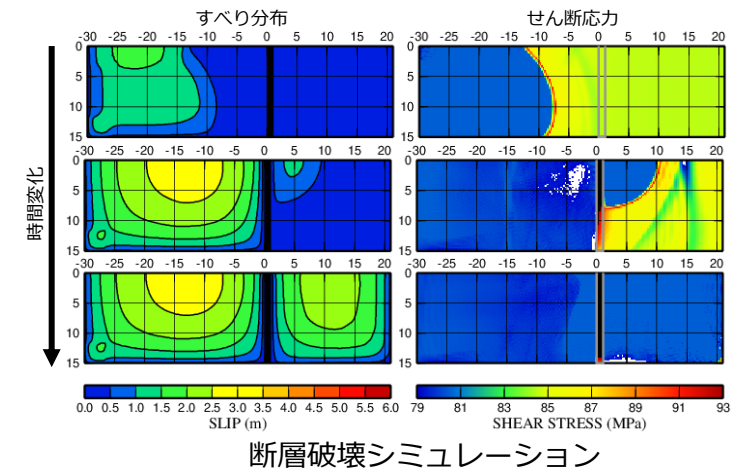


地震に関する調査・研究

近年の地震観測網の発達により地震について多くのことが明らかになっており、地震動の予測精度も日々発展を続けています。構造計画研究所では最先端の研究テーマについて、官民の研究機関からの委託研究および国内外の学会発表を行っています。

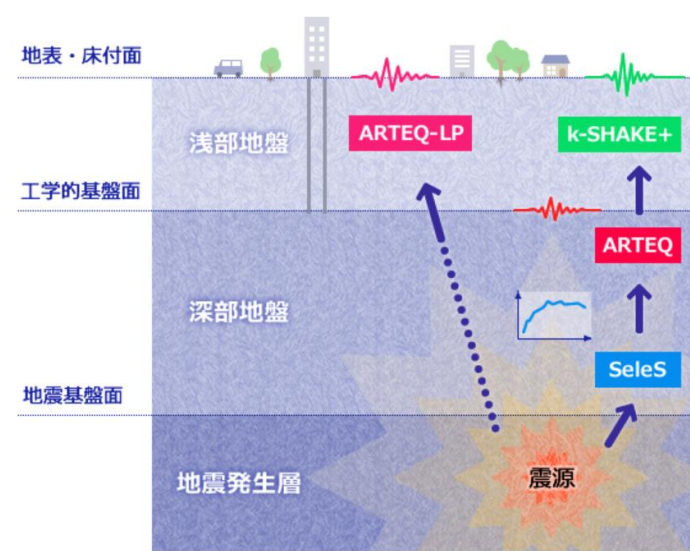


三次元地盤構造を考慮した長周期地震動シミュレーション



解析プログラム開発・販売

解析には自社開発プログラムを用いることで、複雑な解析条件に対しても柔軟に対応することが可能です。また、パッケージソフトの販売や受託プログラム開発も行っています。



- SeleS** 地震荷重設定
建設地点における地震環境を評価(建設地点に影響の大きい震源断層の絞り込み等)任意の震源断層モデルから応答スペクトルを作成
- ARTEQ** 模擬地震波作成
応答スペクトルに適合する地震波形を作成
- k-SHAKE+** 浅部地盤の増幅特性を考慮した地震波形を作成
地盤地震応答解析
- ARTEQ-LP** 国交省の基整促※に基づく長周期地震動を作成
※超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動への対策について(平成28年6月24日)
- k-WAVE** 作成波や観測波等の波形データ処理
波形処理